

# 大規模レセプトデータに基づく総患者数、受診間隔、主傷病と副傷病の関連についての実証研究のお知らせ

帝京大学大学院公衆衛生学研究科では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:平成 29 年 6 月 19 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日

**〔研究課題〕** 大規模レセプトデータに基づく総患者数、受診間隔、主傷病と副傷病の関連についての実証研究

**〔研究目的〕** 厚生労働省のもっとも主要な傷病統計である患者調査の方法論は約 20 年以上前に設計されています。そのため、現在の医療保険制度との乖離が生じているために患者数推計の方法論の見直しが必要です。本研究は、現実社会のデータを用いて新たな患者数推計方法の検証を行うことを主な目的としています。

**〔研究意義〕** 厚生労働省のもっとも主要な傷病統計である患者調査において、医療保険制度の実情に対応する調査方法に見直しを行う事で、今後のわが国の医療制度を検討するためのデータの信頼性がさらに向上します。これにより、今後の医療制度設計をより現実に沿った形にすることが可能となります。

**〔対象・研究方法〕** 長崎県保険者協議会が所管する医療保険の被保険者数約 143 万人、及び株式会社日本医療データセンターが所管する医療保険被保険者数約 270 万人のレセプトデータについて、同一傷病名で複数の医療機関を受診している方の割合や、糖尿病や高血圧などの傷病における平均的な受診間隔、特定健診データと医療機関受診状況の関連、などを検証します。

**〔研究機関名〕** 帝京大学大学院公衆衛生学研究科、福岡大学医学部附属病院

**〔個人情報の取り扱い〕** 対象者の氏名など、個人を特定可能な情報は長崎県保険者協議会または株式会社日本医療データセンターによって全て削除された上で研究機関に提供されます。そのため、研究機関において個人を特定することは不可能です。また、研究成果を公開する際には統計処理を行った個人が特定されない形式の集計結果のみを発表します。

**〔その他〕** 本研究は厚生労働科学研究費補助金(政策科学総合研究事業(統計情報総合研究))患者調査における総患者数推計の妥当性の検証と応用に関する研究(H29-統計-一般-003)の一部として実施されます。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

## 問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 帝京大学大学院公衆衛生学研究科 教授 谷原真一

住所: 〒173-8605 東京都板橋区加賀 2-11-1

TEL: 03-3964-1211 (代表) [内線 46224 ]